

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームかるすと

作成日 : 令和 1 年 10 月 24 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	5	「身体拘束等の適正化のための対策検討委員会」開催後は職員に周知し、情報の共有を図るとともに、定期的(年2回以上)な職員研修の実施が望まれる	身体拘束廃止に関する指針の理解と身体拘束廃止実施	・定期(年2回以上)の研修実施 ・推進会議で話し合われた内容をミーティング時に情報共有と再検討	12か月
2	6	虐待防止に関する職員研修を定期的に実施し、職員への周知徹底が望まれる	虐待行為(身体的、言葉・心理的、性的、介護放棄、経済的)の理解と虐待防止実践	・定期(年2回以上)の研修実施 ・ミーティング時に日頃のケアを振り返って虐待行為に当たる行為がなかったか検討会を行う	12か月
3	20	職員間の薬の情報の共有化と安全対策を図るため、服薬管理マニュアルの作成を行い、安全管理と職員への周知徹底が望まれる	服薬の情報共有化と服薬管理マニュアルの実践による安全管理	・利用者の病気と服薬(副作用も含めて)の情報共有 ・薬の保管、配薬、服薬確認のマニュアル作成と実践 ・モニタリング	12か月
4	15	8月の訪問調査から遡って1回の実施となっているので、定期的に年2回の訓練の実施が望まれる。災害用の備蓄として日常の食料とは別に3日以上以上の備蓄の確保、及び災害避難訓練への地域住民の参加が望まれる	年2回以上の避難訓練の実施 備蓄品リスト作成と3日分の備蓄品の確保	・計画に沿って年2回の避難訓練の実施と地域の方への避難訓練参加呼びかけ ・備蓄品リストの再検討と備蓄品保管	12か月
5	13	健康管理の視点から、全ての利用者が年1回の健康調査が受けられる体制と取り組みが望まれる	全利用者の健康診断を実施し、身体状況の把握に努める	・健診の付き添いを家族さんへ協力依頼し、必要に応じて送迎実施 ・家族さんが付き添いできない利用者さんの健診実施 ・健診結果を家族さんへ報告と職員間で情報共有	12か月
6	3	運営推進会議には、利用者や家族、および地域代表者が参加しやすい工夫が望まれる	運営推進会議へ利用者、家族、および地域代表の方の参加	・利用者の参加促し ・家族さん2組に参加協力を依頼する	12か月
7	9	健康診断については、夜勤を定期的(週1回以上)に行っている介護職員は、年2回、実施することが望まれる	全職員の健診実施(夜勤者は年2回)	・全職員の健診実施(夜勤者は年2回) ・キャンセルした職員は再度受診するよう促す	12か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。